

○東北森林管理局技術普及課の「レーザーバックパック型スキャナ(3D-Walker)及びドローンによる森林・林業活用検討会」に参加しました。

平成30年8月29日(水)に岩手県盛岡市の森林総合研究所東北支所で開催された技術普及課主催の森林・林業活用検討会に、青森事務所から3名が参加してきました。

3D-Walker やドローンによる森林調査や測量への活用等について、実演を交えながら、その特徴や得られる情報等を学び、今後の林業の低コスト化に向けた取組みに役立たせることを目的とした検討会であり、今、注目を浴びているITCを活用した技術です。

検討会には局署等職員のほか、岩手県職員など総勢40名程度が参加しました。

午前は会議室で3D-Walkerの概要説明の後、屋外で現地調査の実演を行い、続けて、ドローンの飛行実演も行いました。

昼食をはさんだ後、午後からは会議室に戻り、3D-Walkerについては外部講師から、ドローンについては森林総研担当者から、それぞれ森林・林業への活用等について講義があり、質疑応答の時間が設けられ、活発な意見交換が行われました。

ITCを活用した技術は、森林・林業の低コスト化に欠かせないものであり、レーザーを用いたバックパックやドローンによる各種調査など、近い将来には普及してくる技術であると考えます。価格や技術面で更なる検討の余地があるかと思いますが、国有林でも今後活用していくために、大変有意義な検討会となりました。

青森事務所では今後も国有林材の有効な資源活用に貢献していきたいと考えています。

